

【大学間協定留学】留学近況報告書

記入日	2023年 11月 4日
留学先大学	シェフィールド大学(日本語名) The University of Sheffield(現地言語名)
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):地理 (現地言語での名称):Geography <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2023年9月ー2024年2月
明治大学の所属学部等	国際日本学部 国際日本学科 (学部/学科/研究科/専攻等)
学年(出発時の本学での学年)	学部 3年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

シェフィールド大学のホームページや留学報告書を見たり、過去に留学されていた先輩方とメールでやり取りするなどして情報収集し、同じ時期にこの大学に留学する人と情報共有をしていました。大学のホームページにはあらゆる情報が載っているので、項目が多く大変かと思いますが、入念にチェックすることをお勧めします。

渡航前の準備としては、タッチ決済に対応しているクレジットカード/デビットカードを複数枚用意したり、イギリスのSIMカードを注文して事前にセットアップしたりしました。渡航してからの一か月間は体調を崩す人が多いので、自分に合った薬などを持っていくと安心かと思えます。私の場合は 2 週間ほど咳が止まらなかったのですが、日本から持参したのど飴やタブレットで対応していました。

準備していくべきことは、英語学習です。シェフィールド大学の出願基準は TOEFL で言うと 80 点以上ですが、更に学部別に英語の基準が設けられています。基準が 88 点以上の学部も多く、英語四技能別の基準も設けられているので、具体的に勉強したい学問や履修したい講義が決まっている方、学習の幅を広げたい方は、大学のホームページで前もって各学部の語学レベルの基準を調べ、渡航前に目標の点数を取れるようにすることをお勧めします。また、リーディングの課題が多く出されるので、英語の論文などに少しでも慣れてから渡航すると良いと思います。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類:観光ビザ	申請先:申請の必要なし
ビザ取得所要日数:なし (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:なし
1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか?また、どのように手配しましたか?	
なし	
2. 具体的な申し込み手順を教えてください。	
なし	
3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?	
なし	
4. ビザ取得に関して困った点・注意点	
1 学期間の留学の場合はビザを申請する必要はありませんが、こちらの大学の学生証を受け取る際にビザ又は航空券の提示が求められるので、ビザ代わりの渡航証明として航空券は大切に保管しておく必要があります。	

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など)

現金はあまり使う機会がないので、£紙幣にかえる額は少なめでも大丈夫だと思います。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	エミレーツ航空				
航空券手配方法	明大サポート ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入				
大学最寄空港名	マンチェスター空港	現地到着時刻	12:00		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (トラム)
移動の所要時間	電車:1 時間 20 分 + トラム:10 分程度				
<p>空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等 マンチェスター空港→シェフィールド駅(約£35 ※切符購入の時期やサイトによって大きく異なります): 電車で Manchester Picadilly へ行き(15 分)、別の電車に乗り換えてシェフィールド駅へ(1 時間弱) シェフィールド駅→シェフィールド大学周辺(£2): シェフィールド駅のトラム乗り場(Sheffield University/Hallam University)にてトラムに乗車し、University of Sheffield で下車(10 分前後)</p>					
大学到着日	9 月 8 日 16:30 時頃				
2. 住居について					
到着後すぐに住居 入居できましたか?	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方:9 月 15 日から入居可能だった。			
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()				
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()				
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()				
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()				
住居の申込み手順	入学許可が降り、シェフィールド大学の学生アカウント(明治大学でいう Oh-o!Meiji)の設定が完了して数日で大学から寮を申し込むためのメールが届くので、それに従って手続きをします。支払いは、Deposit の支払いと残りの寮費の支払いの 2 段階あります。今年は 7/28 が申し込み期限でした。				
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?					
<p>事前に大学のホームページを確認した際、入居可能日は授業開始日の 1 週間前だと記載されていましたが、実際は授業開始日の 10 日前から入居できました。また、オリエンテーションウィークが授業開始日の 2 週間前に始まるのですが、その期間に宿泊できる仮の寮も追加料金を支払えば用意してくれました。ホテルを取るよりも安かったです。 大学のキャンパスが近くにあり、買い物をする場所の多い City にある人気の寮は早く埋まってしまうと思うので、寮申し込みの案内メールを受け取り次第すぐに手続きをすると良いと思います。</p>					



3. 留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	留学生向け:9/11~9/15 新入生向け:9/18~9/22
参加必須ですか?	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は?	留学生向けのオリエンテーションウィークでは、アイスブレイクやキャンパスツアー、一部有料の食事会などがあります。現地生よりも留学生の方が圧倒的に多いです。 フレッシューズウィークは、日本の大学で言う部活やサークルの新入生歓迎会のようなものでした。大学の敷地内にキッチンカーが複数停まっており、無料でクレープや紅茶、アイスクリーム等が貰えました。
留学生用特別ガイド	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月25日から
IV. その他、渡航してから必要な手続きについて	
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか?いつ、どこで、方法は?日数、料金は?トラブルは?	
2. その他現地でした手続きは?(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は?トラブルは?	
なし	
3. 現地で銀行口座を開きましたか?手続方法、必要書類、日数、料金は?トラブルは?	
いいえ 事前にクレジットカード2枚、デビットカード1枚を準備して渡英しましたが、カードのブランドの加盟店が限られているクレジットカードが1枚使えず支払いの際に手間取ったことがあるので、この点については要確認事項だと思います。	
4. 現地で携帯電話を購入しましたか?手続方法、必要書類、日数、料金は?トラブルは?	
いいえ 日本の携帯会社で電話番号の利用停止手続きをした後、日本のSIMカードを、事前に注文したイギリスの giffgaff という会社のものに差し替えて使用しています。事前に注文して日本でセットアップしてから渡英すれば、現地についてからすぐに携帯を使用できるのでおすすめですが、渡英する数日前または当日にセットアップしないと追加料金(海外ローミング代)が発生してしまうので気を付けてください。VOXIという会社のものを使用している友人も多いです。	



V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

- 出発前に(5月(出願の際)日頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()
- 到着後に(9月末 日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることはありましたか？

- あった なかった

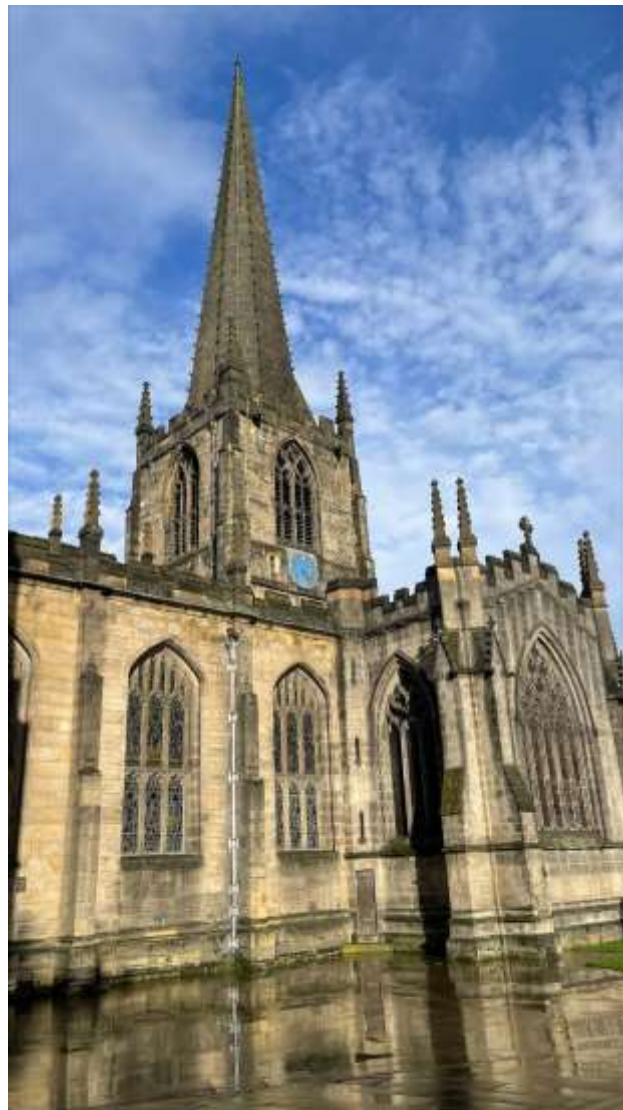
優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

4～5月に大学へ出願する際に履修したい授業も登録する必要がありました(仮登録のようなものです)。このとき3つの授業を選んだのですが、一つは恐らく定員オーバーで申請を取り下げられ、もう一つは事前に特定の授業を履修済みでないと選択できないとのメールが来たので、5～7月にかけて大学とメールで数回やり取りをし、変更してもらいました。

2. 出発前に授業を登録した方は、現地でも変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

現地でも授業が始まってから10日間ほど add & drop という履修修正期間があります。オンラインで修正できるシステムですが、私の場合はうまくいかなかったので、所属の学部のオフィスに直接出向いて変更してもらいました。



Ⅵ. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	起床	起床	起床			起床	起床
9:00	Sustainable Development and Global Justice (講義)	Men, Feminism and Gender Relations (講義)	Men, Feminism and Gender Relations (セミナー)	起床	起床	就活	
10:00	↓	↓			就活	↓	
11:00	予習・復習			予習	↓	↓	
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食		
13:00	予習・復習			予習		昼食	昼食
14:00	Environment and Development of the Japanese Islands (講義)	復習	趣味	↓	Sustainable Development and Global Justice (セミナー)		外出/散歩
15:00				Environment and Development of the Japanese Islands (セミナー)	復習		↓
16:00	買い出し			復習	↓		
17:00					↓		
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
19:00		寮/大学主催のイベント参加	Japan Society	寮/大学主催のイベント参加			
20:00			↓				予習
21:00			↓				↓
22:00							
23:00		予習					
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

シェフィールド大学は、様々なルーツをもつ学生で溢れる、非常にグローバルな大学です。イギリスの文化のみならず、世界各地の言語や文化にも触れることのできる良い機会だと思います。Society と呼ばれるサークルも 350 以上あり、学生連合や学生寮等で毎日さまざまなイベントが開催されているため、暇を持って余すことはありません。私は Japan Society に所属しており、毎週 language exchange をはじめとした活動を通じて、日本が好きな人たちと楽しい時間を過ごしています。

授業に関して感じることは、学習ツールが非常に充実しているということです。私が履修している講義は全て教授が録音しているため、聞き取れなかった部分やもう一度聞きたい部分があれば、自分のページから簡単にアクセスして聞くことができます。また、毎授業前にリーディング用の論文や Web ページ、ドキュメンタリー等の資料が追加されるため、自分次第でいくらでも学びを深められます。他にも匿名で質問をできるシステムがあったりと、授業に関して困ることは無いと思います。

寮は Endcliffe という、街の中心地や大学のキャンパスから徒歩 20～30 分のところに住んでいます。キッチンとダイニングスペースだけ共有しており、日本人は私含め 3 人、ドイツから 2 人、デンマークから 1 人の 6 人です。ゴミ捨てなどは分担しており、今のところトラブルはありません。各フラットにメンターが 1 人ずつついているため、トラブルが発生してもその人が仲介してくれるのであまり心配はないと思います。また、街の中心地から離れているとはいえ、スーパーやキッチン用品を購入できるお店は徒歩数分のところにもあるので、買い出しにもさほど困りません。大きなアジアスーパーは街の中心部にしかありませんが、品揃えが良く、求めているものは大体入手できます(割高ですが)。お米は安くて 4.5kg で£10 程度でした。寮のコモンスペースのようなところに行けば、ほとんど毎日 22:00 前後に近くのスーパーの廃棄を無料でもらうことができるので、節約になりますし、普段自分が買わないような食品にも挑戦できます。

生活上少し困っていることは、洗濯が£2.9、乾燥が£1.4 と、毎度合計£4.3(¥800 前後)かかることです。なので、靴下などを一部自分で洗ったり、部屋干しをして乾燥代を削ったりと皆工夫しています。私は洗濯の回数を減らすために現地で靴下を追加購入することになったので、洗濯にかかる費用を抑えたい場合は、特に肌着類は多めに準備しておくことをお勧めします。加えて、シェフィールドは坂が多く、ちょうど私が住んでいるところは中心街から大きな坂をのぼったところにあるので、買い物をした後に歩いて帰るのに大変な時があります。

天候に関しては、9 月下旬にはすでに寒かったです。そして 10 月中旬からここ 3 週間くらいはほとんど毎日小雨が降っています。土砂降りになることは滅多にないですが雨の日は多いので、レインコートやレインシューズがあるとよいかもしれません。



留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

シェフィールドは人が優しく、緑豊かですが田舎すぎるわけでもないので、楽しく穏やかな留学生活を過ごすのに適していると感じます。ロンドンまでは近くはないですが、海外旅行に行く際はより近くにあるマンチェスター空港からでも行けるので、イギリス以外の国も楽しみやすいと思います。

私は 3 年次の留学ということで就活に不安を抱いたまま渡英しましたが、焦りすぎることなく自分のペースで就活と向き合えますし、何よりも海外でのかけがえのない経験を通じて視野を広げることができると同時に、より自己理解を深められる時間になっていると感じています。

語学力に関しては、英語学習へのモチベーションを保ちつつも心配しすぎないことです。語学要件は比較的高いですが、基準を満たす英語力を身につけ、現地の授業ではきちんと予習や復習をすれば授業内容もしっかりと理解できると思います。

もうすぐ渡英して 2 か月が経ちますが、シェフィールド大学への留学は良い選択だったと感じています。学業に熱心な学生や、将来のビジョンがはっきりしていて尊敬できる友人が多いうえ、自分の行動力次第で毎日新しい発見や学びがあります。実りのある留学になること間違い無いので、悩んでいる方はぜひ挑戦してみてください！

